

Dogushi

胴串 -どぐし-

Winter 2022 Vol.36

特集

人形持ってどこへでも
子どもたちの「居場所」づくり

制作：NPO法人いいた人形劇センター TEL 050-6359-0044 長野県飯田市本町1-2 TEL 050-6359-3594 FAX 050-6359-0904 E-mail: itida-puppet.com@misisans.or.jp

掲示板 いいた人形劇センターからのお知らせ

みんなで観よう！
人形劇定期公演



飯田下伊那の市民が日々の成果を発表する場として開催しています。

- 2月20日(日) 10:30開演
 - きらきら座/三びきのやぎのがらがらどん
 - シアター希望堂/起きろ!
- 3月13日(日) 10:30開演
 - わたちゃんのほのほの劇場/うさぎとかめ
- 4月17日(日) 10:30開演
 - ふたご座/お日様、お月様、夕立様
 - 東野人形劇あかね/どろぼう学校
 - 「田辺」/普通の生活

- 場所:飯田人形劇場
- 料金:一律200円(3歳未満無料)
- 定員:各回80人
- ※いずれもご予約、または事前にチケットをお求めください
- ※新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、中止となる場合があります。また、上演劇団が変更になることがあります
- 予約・問合せ/いいた人形劇センター ☎050-3583-3594

Dogushi

並木 さんぽ

計画している公演や講座が予定どおりに開催できるかできないか、告知開始からずっと気に病む。開催できた場合は以後2週間の経過をじっと見守る。これが二年間続いています。本当に気の抜けない日々。だったら計画しなければいいのか…。切なくなることも多いけれど、今後も計画し続けます！次号は2022年4月発行予定です。(帆)

表紙画:井原千代子

View of IIDA



初春恒例の公演「初春を寿ぐ竹田人形館」は、江戸糸あやつり人形を観劇しました。江戸時代に生まれ、江戸から東京を中心に伝えられてきた「江戸糸あやつり人形」。十本を超える糸と、「手板」という道具で操る独自の技法による、日本ならではの繊細で表情豊かな人形の動きに見入りました。

第16回 AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

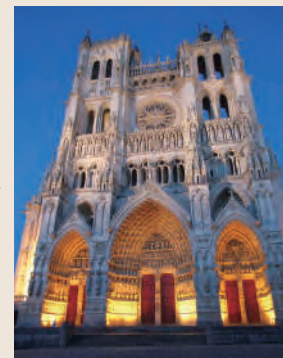
アミアン (フランス)

フランス北部のピカルディ地方(現在のオー＝ド＝フランス地域圏)に位置する都市で、世界遺産のアミアン大聖堂が有名です。

アミアンにおける人形劇の歴史は17世紀後半に始まったと言われていますが、記録に残っているのは19世紀以降のことで、当時市内には多くの人形劇場がありました。古くはナポリから来たプルチネラの影響を受けていましたが、19世紀にはラフルールというピカルディ地方の方言を話す人形が人気を博し、アミアンのシンボルになりました。その後は戦争や映画の普及によりアミアンの人形劇は衰退してしまいましたが、1930年代に伝統を復興するための団体や、ラフルールを演じる人形劇団が設立されました。この人形劇団は1965年に公有化され、1997年には市などの援助を受けて人形劇場が建てられています。

アミアンの人形劇フェスティバルは2004年に始まり、およそ2年ごとに開催されています。2021年のフェスティバルは9月から11月にかけて開催され、人形劇の公演やワークショップが行われました。

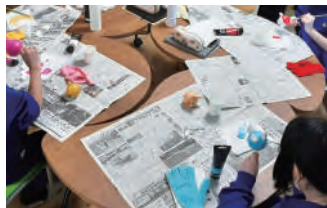
アミアンでは、人形劇や人形劇に対する人々の愛情によって、ピカルディ地方の芸術や言語の伝統が受け継がれています。



世界遺産のアミアン大聖堂



『さんびきのこぶた』は、日常のものを人形に見立てるオブジェシアター。コーヒーカップがブタになったり、お風呂呂布ーツがオオカミになりました



ひとりひとつずつ、スチロール球をカッターで切り、絵具で色を塗って人形をつくりました

HUG(松川町)は2回に分けて
人形劇観劇・人形づくりと劇づくり

2021年
12月



劇づくりは、はじめに人形操作の基本から取り組みました



人形劇団なむなむの『おしょうさんとこぼうず』を観劇中

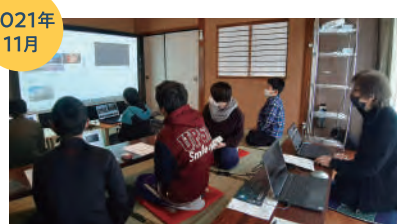
ゆめひろ(諏訪市)での
出張公演

2021年
10月



中南信地域の小中学生が人形劇公演を見た後に、希望者は人形づくりを体験しました

人形づくり
ワークショップ



小学校5～6年生と中学生が参加。大きなスクリーンを見ながら作業の手順を学んだあとに作業に取りかかりました

動画制作
ワークショップ

2021年
11月

ほっこりでは、学校教諭(非常勤)、臨床心理士、音楽・幼児教育・社会教育などを専門にしている方などが集まって定期的な活動の様子を振り返っています。

※3月には喬木村のバドルダッククラブに行く予定です。その他、飯田下伊那地域に出張公演やワークショップに出かけていきます。ご希望の団体はお気軽にご連絡ください。

特集
人形持ってどこへでも

子どもたちの「居場所」づくり

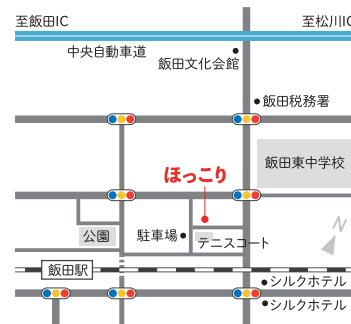
みなさんは子どものところに「居場所」はありましたか？令和の現在、心地よい場所を持たない子どもたちが増えています。そのなかでもやりたいことが見つかる子どもはラッキーです。でも何をやっていいかわからない人の方が多いかもしれません。気軽に失敗する機会も奪われ、新しく挑戦することに臆病になって一歩が踏み出せなくなっています。人形劇を通した活動はこうした課題を解決できるひとつになると思っています。

居場所とは、安心できる楽しい空間づくりとともにそこに集まる人の存在が大きいに思っています。そこでほっこりスタッフも楽しい雰囲気をもって、アウトリーチ(外の施設での人形劇活動)を始めました。10月は諏訪市で人形劇公演と簡単な人形体験、12月には松川町に2回行って人形づくりと劇づくりをしました。人形に触れる機会のない子どもたちがとても興味を持ってくれました。中学校の生徒のみならずも人形の持つ表現を楽しんでいたようでした。

そのなかで、「人形はリアルアバターにな

人形たちとつくる
コミュニティスポット ほっこり

開所時間：毎週 火 曜 14:00～17:00
：第1・第3木 曜 15:00～18:00
：第2・第4土 曜 14:00～17:00
参加費：無料。時間内は自由に入退室
できます
場 所：飯田市高羽町2-5-1
(高羽町テニスコート向かい側)
10台収容できる駐車場あり



※アバターとは、SNSやブログ、チャット、オンラインゲームサイトなどのコミュニティサイトで、自分の分身として表示されるキャラクターのこと。
(「Medico英和対訳辞書」からの引用)



休眠預金を活用した事業です
休眠預金を活用した
事業シンボルマーク

るのでは？」と思い始めました。コミュニケーション力が重要と言われる一方、友達同士でも直接伝えることが難しくなっています。でも人形を使うと自分ではない「何か」になれる。言いにくい「壁」を乗り越えてくれます。しかも高度なデジタル技術は必要なく、誰でも日常にあるものを組み合わせることで簡単にできます。リアルアバターに見立てると、人形の別の魅力と可能性が見えてきませんか。

お問い合わせ
NPO法人いいだ人形劇センター
☎050-3583-3594 担当:木田
hokkoripuppet@gmail.com

人形劇のまちとの出会いがあった

・トイミュージック イマイアキ



こんにちは。私はアコーディオンやおもちゃ楽器の演奏、作曲をしています。イマイアキと申します。

I T O プロジェクトさん、人形劇団コロンさんの作品で生演奏をさせてもらったことで、人形劇のまち飯田へと出会いました。そして、人形劇を自分でもやってみたくなり、足踏みオルガンを演奏しながらの作品「おはなしオルガン」を上演させてもらったこともあります。その際のスタッフの方々の大変手厚いサポートは感激でした。

すべての道は飯田へ通ず

第25回

次号は、府金総太さんです



いいだ人形劇フェスタ2018に参加。りんご庁舎2Fで「おはなしオルガン」を上演しました。写真は本番前に舞台袖から撮影

初参加は2013年の夏I T O プロジェクトさんの「ボーダダンス」。その時はまだ人形劇の世界に触れて間もない頃で、当時の自分のブログを探してみると「人形劇の世界って、自由ですごい」「子どもの心をつかむ魔法のようでもあり、大人も見入る芸があり、笑いもあり、可愛さもあり。そばに接していると、全体的に刺激を受けるといふか。これだ！っていう気持ちでした」と書いてあります。

そんな世界に路上でもホールでも沢山触れることのできるいいだ人形劇フェスタ。ここ2年ほど行けていないので懐かしいなあと思っています。今年に行けたらいいなあ。

Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から

住民と自治 2016年12月号

特集:文化行政の光芒 矛盾に向き合い紡ぎだす文化と自治

2022年はトンネルの出口が見えるでしょうか。いいだ人形劇フェスタも実行委員会は固唾をのんで推移を見守るしかないでしょうけれど、行政側から外への発信は近年あまり見かけないような思いますが、数年前の月刊『住民と自治』2016年12月号掲載の林優一郎飯田市南信濃公民館主事(当時)の「人形劇を活かした地域づくりを目指して」などからは、人形劇フェスタについて行政がどう捉えているかが見えてきます。他に、いいだ人形劇フェスタを社会教育的視点から全国的に知らしめた佐藤一子東大名誉教授の「地域の発展を支える文化行政と文化施設」の掲載もあり。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



自治体問題研究所 編集



古田人形芝居保存会 三番叟



高陵中学校黒田人形部 生写朝顔日記 宿屋より大井川の段

また、人形浄瑠璃を地域に持つ4中学校(箕輪中、高陵中、竜峡中、阿南第二)が一堂に会し、年一回「中学生サミット」を行っている。人形芝居と活動状況の発表、講習会などを通じて学び合い、

2021年はコロナ禍で中学生サミットが行えず、研修は三味線の1回のみであったが、今年には伊那人形芝居公演、中学生サミット、各種研修が行えることを願っている。

写真撮影:松下 孝一

長野県民芸術祭2021参加「第三十九回伊那人形芝居公演」が昨年11月7日(日)黒田人形浄瑠璃伝承館にて開催され、伊那谷に残る四座が伝統の人形芝居を上演した。前年と同じく新型コロナウイルス感染症の予防により無観客で実施。中学生の参加は高陵中学校黒田人形部のみだった。

江戸時代より継承される伝統の技を披露 伊那人形芝居公演

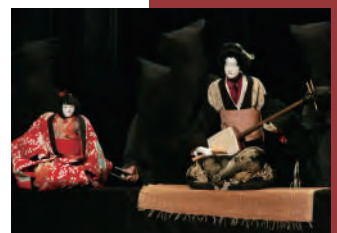
伊那人形芝居保存協議会

古田人形芝居保存会の三番叟で始まり、黒田人形保存会、早稲田人形保存会、古田人形芝居保存会、今田人形座の四団体それぞれに江戸時代中期の元禄年間から三百年余り続いていると言われている伝統の技を披露した。

伊那人形芝居保存協議会は、年に一度伊那人形芝居公演を行い、伊那谷四座の成果の発表と親睦を深め、四座が困ったことを話し合いお互いに知恵と工夫を出して人形芝居の保存継承をしている。



黒田人形保存会 観音霊験記 壺坂寺の段



早稲田人形保存会 奥州安達ヶ原三段目 袖萩祭文の段



今田人形座 傾城阿波の鳴門 順礼歌の段



鼎中学校人形劇部「のん」 | ユースクラブ あにまる学園大運動会

部員10人全員が一体ずつ人形をつくり、役を演じられるようにと考えて脚本はオリジナル。先輩から代々受け継がれるマスコットキャラクター「のん」も大活躍。部長の高田采冬さん(3年生)は「練習で気になっていたところが思うようにできてよかった」と部員たちに声を掛けながら、次期部長の大前秋桜さん(2年生)に笑顔でバトンタッチしました。



飯田東中学校人形劇部りんご劇団 | ユースクラブ 三びきのやぎのがらがらどん

部員3人が得意なことを主に手掛け、人形づくりや練習の時はお互い声を掛け合う様子からチームワークの良さが伝わってきます。「大ヤギとトロールの対決シーンがこれまでで一番上手にできた」と部長の北澤響子さん(2年生)。1年生の安静璃奈さん・伊藤雪人さんは「思っていた以上に人形劇が楽しかった」とにこやかな顔で話してくれました。



ころぼっくる | 初級コース 新作 ももたろう

新型コロナウイルスの影響をうけ、2年かがりで完成にこぎつけたとあって上演前から興奮気味のメンバーたち。なかには緊張しすぎの様子に励まし合う場面も。おばあさんとイヌの二役を演じた山田佳奈さんは「お客さんの反応が伝わってきて、気持ちよく演じられた」と、とても満足そうに話してくれました。



突撃 人形劇の Part 29 ゲン・バ

いいだ人形劇センターが主催する市民向けの人形劇講座に今年度参加した5劇団の作品が完成。さらに、10月と12月の人形劇定期公演で講座の成果を披露するという情報をキャッチ!早速“ゲン・バ”へ直行しました!!



おはなしグループ でんでんむし | 中級コース

おたまじゃくし海へ行く

3年かけて人形や舞台美術、芝居もじっくり作りこんだ作品だけに思い入れもひとしお。「人形劇はやればやるほど難しさを感じますが、その分楽しさも大きくなる。大事に演じていきたい」と全員が口をそろえます。代表の上沼則子さんは「作品を通して子どもたちに夢や希望、力をあわせて困難に立ち向かう大切さを伝えたい」と熱く語ってくれました。



シニア大学 人形劇団ふたご座 | 中級コース

日本伝統芸能 狂言より「ぶす」

2年前に取り組んだ作品「ぶす」に磨きをかけるとともに、新メンバーの特技“尺八”を作品の中にかしたいと受講。「芝居の邪魔にならず、よりよくなるように努めました」と照れながら話す小原捷次さん。「この作品の上演を続けながら、早く次の作品づくりに取り掛かりたい」と代表の森山幹夫さんは意欲満々でした。



尺八の演奏も披露した小原さん

その一つが、人形は、不自由だからこそ素晴らしいということの発見でした。先日、歌舞伎役者の方が、コロナでも芝居をすることはできたのですが、相手役に近づけないなど不自由なことがあったおかげで、新しい表現を見つけてくることができたと話していました。人形劇も不自由ではあるけれども、不自由さを味方につけたら、必ず深く、豊かな表現に、たどり着けるのではないかと思うこの頃です。コロナ禍の最中、協会の仲間と5分ほどの短い動画を10編作りしました。全国にいる会員に見てほしいと思っています。



撮影風景

「人形劇研究会」の動画は日本人形劇人協会のウェブサイトより視聴できます

人形を操作するとは…

日本人形劇人協会は、2019年から人形操作を言語化する試みにチャレンジする「人形劇研究会」を始めました。この人形の操作を言語化するという点において、古い本を調べてみましたが、人形の歴史や舞台の作り方、台本などが書かれたものはありましたが、人形が感情を表わす為、どうすれば良いのかについて書かれた本は、見つけることができませんでした。ひとつだけ吉田清治氏の書かれた文章が、私達の手掛かりでした。手探り状態で研究会を行って来て、幾つかの発見があり、又、何気なくしていたことでも、そうだったのかということにも気づかされました。

劇人協会通信 映像と人形・ 人形劇 その12

人形劇人協会理事
理事長 安藤 ばく

日本人形劇人協会
舞台や映像番組で活躍している実演家と人形劇に係わる仕事を職業とする専門人形劇人の組織。人形劇人相互の親睦交流、活動条件の改善と社会的芸術的地位の向上をはかることを目的に1967年に設立されました。